



立ち止まって考える

～誰と共に歩む教会になりたいのか～

講師：ビスカルド篤子さん



(大阪高松教区社会活動センターシナピス副センター長。
神戸女学院大学非常勤講師)

1963年生まれ、神戸出身。カトリック学校で教鞭を執ったのち、
1991年旧カトリック大阪教区設立の「平和の手」に就職。
2002年に社会活動センターシナピスとして組織改編され、専従
事務局員として主に難民移住者支援に携わる

日時：2026年4月18日(土)14:00～16:30

場所：河原町カトリック会館 地下2F 大ホール

(地下鉄 京都市役所前下車、
河原町通り 南に徒歩2分)

日本社会には395万6619人(2025/6月末)の外国人が暮らしていますが、外国籍の人の生活や権利に対する人々の理解が充分とは云えないのが現状です。また、外国籍の人々が出身国や人種、民族、文化の違いを理由に不当な扱いを受ける排外主義が溢れ返っています。

カトリック教会は多様なルーツを持つ人々と共に歩んでいます。その人たちの存在に目を向け、その思いや状況を理解することが共に歩いていくために必要です。外国籍の人々と共に歩む教会を目指していくために、日々難民支援、移民支援をしておられるビスカルド篤子さんを講師に迎え、現場の状況を学びます。

お問合せ 京都教区カトリック正義と平和協議会

☎075-223-3340 (月・火・木曜日 10:00～16:00)

e-mail: seiheikyo@kyoto.catholic.jp

主催：京都教区カトリック正義と平和協議会